



# 南市岡小学校

所在地 〒552-0011 港区南市岡2丁目6番35号

TEL 06-6582-0390

FAX 06-6582-0197

校長名 尾形 聡(おがた さとし)



## 学校の紹介・校長メッセージ

南市岡小学校は、港区と西区が接するところに位置し、東は境川、西は国道43号線、南は尻無川、北は港通りに囲まれた地域が校区となっています。昭和30年～40年代には17学級～19学級で児童数600人～700人の規模がありましたが、平成6年以降は、各学年1学級の小規模な学校で統合・廃校の対象校となっていました。しかし、学校選択制の実施や校区の変更(平成27年度より3年間の調整期間を経て、平成30年度より南市岡3丁目が南市岡小学校区となる。)により、令和元

年度は269名(9学級)となり、令和2年度は288名(10学級)の規模で11月1日に創立90周年を迎え、令和3年度は297名(10学級)となりました。そのため、平成29年度に新校舎を建設し、新たに7教室を確保しました。100人規模の学校から一挙に約3倍規模の学校へと移行することを念頭に置き、教育活動や学校行事等を見直し、よき伝統を残しながら新しい南市岡小学校を創っていかねばならないと考えています。

### 学校教育目標

明るくしんのある子どもに育てる

### めざす学校像

子どもが楽しく学び、のびのびと活動できる学校  
子どもが互いに認め合い、ともに伸びていく学校  
保護者や地域と連携し、互いに信頼し合える学校

### めざす子ども像

助け合える子ども  
はっきり言える子ども  
ねばり強い子ども

### 沿革

昭和5年11月	市岡小学校より南市岡小学校として分離独立	平成22年11月	創立80周年
昭和21年4月	市岡小学校に統合	平成27年3月	校庭の芝生化事業
昭和33年4月	大阪市立南市岡小学校として再開独立		(南市岡地域活動協議会)
昭和55年11月	創立50周年	平成30年3月	新校舎完成
平成12年11月	創立70周年	令和2年11月	創立90周年

## 運営に関する計画

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

#### 【学校の年度目標】

- 校内調査において、「学校へ行くのが楽しい」に対する肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 校内調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」に対する肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 【学校の年度目標】

- 校内調査において、「学校の勉強がわかる」に対する肯定的な回答をする児童の割合を85%以上を維持する。
- 校内調査において、「読書をしている」に対する肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の向上に向けて、長座体前屈を令和元年度より向上させ、体力合計点が大阪市平均を上回るようにする。

## ●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

大阪市教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表しない。

#### 〈結果の概要〉

平均正答率は、国語科は大阪市の平均を上回っていたが、全国の平均は下回っていた。算数科は、大阪市と全国の平均を上回っていた。平均無解答率は、国語科・算数科ともに大阪市や全国の平均よりも低く、最後まであきらめずに回答できている。

#### 〈分析から見えてきた成果・課題/教科に関する調査より〉

【国語】平成30年度より「学力向上推進モデル事業」モデル校の指定を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて言語活動の質を高めるための取組に力を入れたこともあり、「書く力を問う問題」で力を発揮することができた。一方で、基礎基本の定着に取り組んできたが正しい漢字で書く問題の正答率が低かった。漢字を覚えて書くだけでなく、文章の中で意味をとらえて正確な漢字を使って書き表す力をつけていくことが必要である。

【算数】高学年で年間を通して習熟度別少人数指導を行い、個に応じたきめ細かな指導をしてきた結果、特に「数学的に考える問題」では、自分の考えをしっかりと記述することができた。さらに、無解答率は低く、正答率が高くなっており一定の成果があったと言える。学習の流れを明確にすることで自主的な学習態度が身につけてきている。

引き続き、基礎・基本の定着を図るため、「振り返りプリント」などを活用して練習問題に取り組む時間を設定していく。

#### 〈今後に向けて〉

- 平成30年度からの2年間は「学力向上推進モデル校」の指定を受け、令和2年度からは「学力向上推進事業」の国語科の指定を受け、国語科における基礎学力の定着及び活用力の育成を図っている。
- 3～6年生の算数科や国語科では、個々のつまずきや課題に対応できるように、1学級2分割の少人数指導やTT(ティームティーチング)などの弾力的な学習を取り入れている。
- 算数科の学習では、「課題把握→個人思考→ペア・グループでの話し合い→全体交流」というように学校全体で学習の進め方をきめ、取り組んでいる。
- 全体交流の際、ノートを大型液晶テレビに映すなど、ICT機器を活用し、発表しやすい環境を作るようにしている。
- 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向け、授業研究に取り組んでいる。

## ●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	15.85	23.07	30.00	41.96	64.08	9.09	157.19	27.31	56.85
女子	15.00	19.95	34.75	38.25	44.40	9.50	142.20	14.50	55.10

男女ともに上体起こしと20mシャトルランと50m走とソフトボール投げの全8種目のうち4つの種目において、全国平均並びに大阪市平均を上回った。

男子は、反復横とびと立ち幅とびも全国平均並びに大阪市平均を上回った。男女とも握力と長座体前屈は全国平均並びに大阪市平均を下回った。女子は反復横とびと立ち幅とびが全国平均並びに大阪市平均を下回った。

その結果、男子は体力合計点が全国平均並びに大阪市平均を上回った。女子は体力合計点が大阪市平均を上回った。運動場全面を使って、なわとびタイムや全校かけ足タイム等の体力向上の取組を行うことができた。体育科の学習では、学習のめあてをもち、まとめの時間には振り返り活動を行うことで、児童が主体的に取り組むようになってきている。

さらに、新体力テストの実施種目を児童の発達段階に応じて段階的に増やし3年生以上では全8種目を実施している。ソフトボール投げや50m走など、計測に準備や時間がかかるものは体育学習で計画的に取り組むようにしている。準備運動として握力や立ち幅とびなどの種目に関わる動きを取り入れ、体を動かす機会を意図的に増やしている。

また、ビデオやデジタルカメラ、タブレット端末を活用した授業をさらに増やしていくとともに児童が屋外で積極的に遊ぶよう、指導者が一緒に遊んだり、声をかけたりするなど、児童にはたらしめるようにしている。

現在、南市岡小学校では、学校生活の様子や様々な行事などをホームページで、紹介しています。ぜひ、ご覧ください。「南市岡小学校」と入力し、検索すると、すぐにホームページが閲覧できます。

4月	入学式 始業式 対面式 学習参観 家庭訪問
5月	春の校外学習 修学旅行(6年) 新体力テスト
6月	自然体験学習(5年) ふれあいフェスティバル プール・水泳開始 文楽鑑賞 歌舞伎鑑賞
7月	期末懇談会 終業式
8月	始業式 避難訓練(防犯)
9月	食の学習
10月	運動会 学習参観 校外学習 劇鑑賞会あるいは音楽鑑賞会(隔年実施 今年度は劇鑑賞会)
11月	作品展あるいは学習発表会(隔年実施 今年度は学習発表会)
12月	期末懇談会
1月	避難訓練(地震) ジャンボかるた大会
2月	防災教育 新1年生入学説明会 交流給食
3月	卒業を祝う会 卒業式



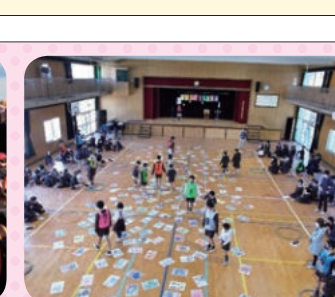
栽培活動 (地域の方と一緒に)



自然体験学習(5年) 八手高原



修学旅行(6年) 鳥羽・菅島



ジャンボかるた大会(児童会)